



第8回 理工系女子応援ネットワーク会議 開催報告



1 開催概要

内閣府は令和6年 10月23日(水)に「第8回 理工系女子応援ネットワーク会議」を開催しました。オンラインで開催し、全国から110団体・145名にご出席いただきました。

2 理工系女性人材の育成に係る取組説明、夏のリコチャレ2024 報告

内閣府・文部科学省より、科学技術・学術分野における現状と課題、理工系女性人材の育成のため取り組んでいる施策について説明しました。その後、「夏のリコチャレ2024」イベント実施団体へのアンケート結果を踏まえて、今年度の振り返りを行いました。「夏のリコチャレ2024」では、119団体により、228のイベントが行われ、約6,900名以上の方が参加しました。

3 夏のリコチャレ取組事例発表

<地方公共団体の事例>

和歌山県庁より発表いただきました。和歌山県庁は、県内の企業・大学と協力し、見学バスツアーを企画・実施されました。今年で2回目の取組となるバスツアーの内容を御紹介いただき、地方自治体と企業・大学等が連携して行う産学官連携イベントの実例を示していただきました。また、バスツアーでご活用いただいた、STEM Girls Ambassadors 事業の紹介もしていただきました。



<大学の事例>

大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワーク(以下、「大阪大学」といいます。)より発表いただきました。大阪大学は、複数の大学や高等専門学校と連携し、リモートと実地のハイブリッド開催で実施するとともに、参加申し込み数が、340件を超えるなど、多くの参加者様の確保に成功しております。実施したプログラムの構成や、保護者への働きかけの重要性について御紹介いただきました。



<企業の事例>

株式会社フジタ(以下、「フジタ」といいます。)より発表いただきました。フジタでは、今年で8年目となる経験を踏まえ、イベントの実施に当たり、工夫していることを御紹介いただきました。早い段階でプログラムを決定し、チラシに反映させること、参加者の年齢層が幅広い場合はグループ分けを行うこと、体験のみでなく、参加者が将来を考える時間を設けること等、具体的な工夫点を御紹介いただきました。



4 グループディスカッション

本会議には、夏のリコチャレや独自の取組によりイベントを実施いただいている団体、イベントの実施を検討している団体等、様々な団体に御参加いただきました。グループディスカッションでは、イベントを実施した団体が工夫点やノウハウを発表し、イベントの実施を検討している団体からは積極的な質問がなされるなど、参加者の間で活発な意見交換がなされました。